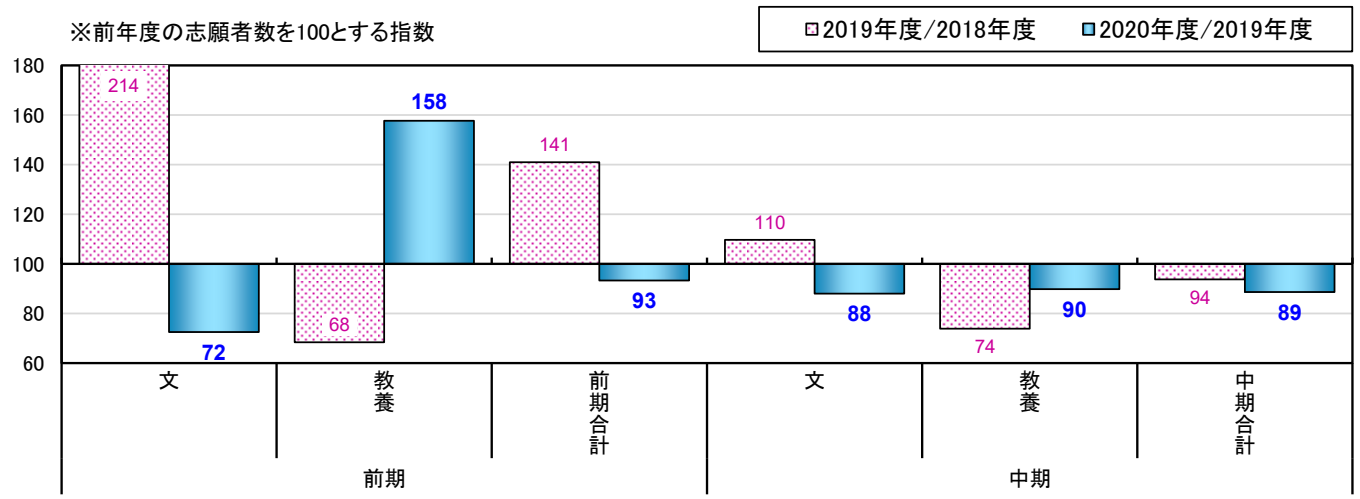
2020 年度入試状況分析【国公立大】

都留文科大：前期はやや減少、中期は改組後３年連続減少　　前期：-49 人　中期：-327 人



入試変更点	
	募集人員：文(英文)…〈前〉20 人、〈中〉40 人→〈前〉15 人、〈中〉30 人 センター：文(英文)〈前〉…３教科型：外+{国 or 歴公 or 数 or(理 or 理基２)} →２ →３教科型：外+{国 or 歴公 or 数 or(理 or 理基２)} →２ ５教科型：国+歴公+数+外+(理 or 理基２)　※５教科型追加 文(英文)〈中〉…３教科型：国+外+(歴公 or 数 or 理 or 理基２) →３教科型：外+{国 or 歴公 or 数 or(理 or 理基２)} →２　※国が必須から選択へ ５教科型：国+歴公+数+外+(理 or 理基２)　※５教科型追加 個別：文(英文)…英(300 点)→英(200 点)

COMMENT　※(　　)内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度大幅増加の反動で 49 人(93)のやや減少。中期は 327 人(89)の減少で、2018 年度の改組後、３年連続減少。

〈前期日程〉

○**文**(72)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(英文)(17)は個別試験を課さないことでセンター試験の平均点の変動の影響を強く受けるが、必須である英語の平均点ダウンに加えて、前年度の 2.8 倍の激増の反動で激減した。センター試験で平均点がダウンした数学が必須の〈５教科型〉の新設も影響した。一方で、比較文化(230)は個別試験を課さないが、センター試験で平均点がダウンした数学が必須でないことに加えて、２年連続減少の反動で 2.3 倍の激増。(国文)(128)も４年連続減少の反動で大幅増加。　(国際教育)(106)は前年度倍増近い大幅増加だった反動はなく、やや増加。

○**教養**(158)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(学校教育)(309)は３倍を超える激増、一方で、(地域社会)(89)は、前年度大幅減少に引続き減少と対照的。

〈中期日程〉

○**文**(88)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、比較文化(184)はセンター試験で平均点がダウンした数学が必須でないことに加えて、前年度半減以上だった反動で大幅増加。2015 年度以降、前年度の反動による大幅増減が継続。(国際教育)(122)は前年度の増加に引続き大幅増加、2017 年度の開設以来志願者数が最多となった。一方で、(英文)(51)は前年度の倍増の反動で半減。センター試験で平均点がダウンした数学が必須の〈５教科型〉の新設も影響した。(国文)(87)も前年度増加の反動で減少。2016 年度以降の５年間で４回減少。

○**教養**(90)は、前年度大幅減少の反動はなく、さらに減少。学科別では、(学校教育)(115)は前年度の大幅減少の反動から大幅増加。一方で、(地域社会)(65)は、前年度大幅減少に引続き減少と対照的。